



米島マラソン大会を、より充実した魅力ある大会へと発展させる企画・運営に取り組みます。

また、プロ・アマ野球等のキャンプ・合宿の継続及び誘致についても、関係団体と連携を図りながら取り組むとともに、コース増設によりスケールが拡充したパークゴルフについても、観光ボトム期を中心とした観光誘客ツール、本町におけるスポーツコンベンションの中核としての活用に取り組んでまいります。

本年11月には、本町出身で琉球古武術の研究と伝承に尽力された平信賢氏の功労を称え「平信賢師顕彰琉球古武術保存振興会創立80周年記念国際セミナー2019」が琉球古武術保存振興会主催によりホテルドームを主会場に開催されます。国内外から多くの空手愛好家が来島しますので、大会を盛り上げるため誘致・運営を支援してまいります。

### 交通の確保

離島を結ぶ航路は、住民や交流人口にとって重要な交通手段であり、物流、観光及び産業活動に欠くことのできない

す。併せて、昨年度より始まった「久米島町電子図書館」実証事業を引き続き実施し、図書館施設と併せて生涯学習や読書環境の整備に努めてまいります。

さらに、交流事業として、新潟県十日町市とのなかさと交流、佐賀市との中学生交流、海外ホームステイ事業を継続実施し、児童・生徒の視野を広めるとともに将来の久米島を担う人材育成に取り組んでまいります。

社会体育については、町民の健康・体力増進を図るため、久米島町体育協会などの関係

い大きな役割を果たしていただきます。

特に、航空路線は利用度の高い交通手段であり、定期路線の維持・確保及びジェット便の増便等、輸送体制の拡充、利便性の向上について、引き続き要請してまいります。

「フェリーニューくめしま」の老朽化に伴い、航路事業者が新造船を導入し、本年7月から就航予定となっておりますが、航路事業者による造船は用船料が多額となることから航路経営が圧迫され、航路の安定的な維持・確保に影響を及ぼすことから新造船の買取支援に取り組みます。さらに町民の利便性向上及び交流人口の拡大のため高速船の導入についても継続要請してまいります。

町営バスは、町民の通学・通勤・買物・通院など重要な生活交通路線であるとともに島を訪れる観光客などにとっても欠かせない交通手段として重要な役割を担っております。そのような中、利用者から運行形態に関する要望が寄せられていることも踏まえ、利用実態の分析等に取り組みながら、安全かつ定時運行に努めます。さらに、70歳以上

の高齢者の町民を対象に運賃無料化を継続し外出支援に取り組んでまいります。

### 教育・文化の充実

#### 学校教育の充実

学校教育に求められるのは、変動の激しい21世紀を力強く、逞しく生き抜く「生きる力」を全ての子ども達に育むことにあります。「生きる力」を育むとは、「知・徳・体」調和のとれた子どもの育成だと考えます。その中でも教育委員会では、本町の教育の大きな課題である『学力の向上』を基軸として、子ども達一人一人に確かな学力を身に付けるような取り組みを推進します。

学力向上の取り組みとして小学校では、昨年度全国学力学習状況調査の総合正答率で、ほぼ全国並を維持することができました。その結果を継続できるような取り組みを行ってまいります。中学校では、総合正答率で県平均を超え、全国平均に迫る結果を得ました。今年度も県平均以上を目標とし全国平均との差をさらに縮められるよう取り組んでまいります。

する自然学習体験施設としての効果的な利活用を図ります。また、今年4月には「全国ホテル研究会久米島大会」が開催されることから、クメジマホテルを、自然との共生、環境保全、あるいは観光誘客の軸として活かすべく、久米島の自然や環境を全国にアピールしたいと考えております。

#### 学校給食

学校給食は、バランスの取れた豊かな食事を通して、児童生徒の健康増進、体位の向上及び正しい食習慣を図ること、共に食事することで相互間の心のふれあい、好ましい人間関係の育成の場として、社会性を養うことなどをねらいとして、教育活動の一環として取り組んでいるところで

す。引き続き、学校給食の目的、目標、役割が周知できるよう積極的に食育に取り組んでいくとともに「安全・安心・美味しい給食」の提供に努めてまいります。また、地産地消の拡大に向けて関係機関と連携を図りながら、地元産の食材を学校給食に活用できるよう取り組んでまいります。

また、今年度も姉妹提携を結んでいるハワイ州にありま

これらの目標を実現するためにも、全小中学校で、教師の授業力の向上のための研修会の実施、課題と改善策を共有し各校が特色ある取り組みができるよう支援します。また、基礎学力向上学習支援員を、小学校3名、中学校に4名、合計7名配置し、基礎的な学力の定着を図ってまいります。加えて中学校では学習習慣の定着と学習への興味関心を高めることを図るために放課後自主学習の場「しまのまなびや」を開設し、生徒の意識改善に取り組んでまいります。さらに、中学校に配布した国語、数学、社会科、理科、英語5教科のデジタル教科書及びタブレットなどのICT機器を積極的かつ効果的に活用することなどで学習意欲及び学力の向上を図ります。併せて、学習情報機器の更新を計画的に実施し、引き続き学力向上に資するICT利用環境の整備を進めてまいります。

教育活動の中では、人、自然、伝統文化など、地域の豊かな教育資源を活用することにより、久米島の良さを知り、ふるさとに誇りを持てるような子ども達の育成に努めてまいります。

老朽化している学校給食センターについては、安全性の高い学校給食を提供できるよう、最新の衛生管理基準に適合した施設整備とすため、移転建て替え事業を推進してまいります。

#### 久米島高校魅力化

久米島高校の魅力化事業の一つとして、島外からの留学生を受け入れていますが、久米島町地域支援交流学習センター「通称じんぶん館」には現在26名が入寮しており、3月に7名が卒業し、今年度は10名を受け入れる予定です。離島留学生と地元の生徒及び地域との交流を通じて、お互いに刺激し合う環境が整い、相乗効果によって国立大学、有名私立大学への進学決定者も増えております。

また、今年度も姉妹提携を結んでいるハワイ州にありま

また、今年度も姉妹提携を結んでいるハワイ州にありま

学校施設の整備については、耐震基準に満たないと思われる学校施設の耐震診断を早急に行い、結果を踏まえ耐震補強工事を実施し、安全な教育環境の充実に努めてまいります。

幼稚園においては、仲里幼稚園と清水幼稚園の2園に各2クラス3名の幼稚園教諭体制で保育面や安全面のさらなる充実を図ります。また、預かり保育については、仲里幼稚園、清水幼稚園において、これまで通り安全で充実した保育に努めてまいります。

#### 生涯学習の振興

生涯学習の充実を図るため、ヤングフェスティバルや新春書道展、また各種講座・体験活動事業等を展開し、幼児から高齢者に至るまで町民が生き生きと学習活動ができるよう支援してまいります。

また、念願である図書館建設については、いよいよ建築工事に着手します。平時は「町民の学び」の拠点である図書館や地域交流施設として、災害時は避難施設として、町民の皆さんの期待に応えられる施設整備に努めてまいります。

#### 福祉の充実

ミ形式の学習を取り入れております。ここに通う生徒一人一人がじんぶん（知恵）と知識を身に付け、世の中に羽ばたいていけるよう今後もサポートしてまいります。

町民福祉については、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実を図り、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組むとともに食料品や生活必需品など買い物に困っている地域で実施している「移動販売車」による買い物支援についても引き続き取り組んでまいります。

また、出産や難病等の治療で沖縄本島の医療機関に通院する場合の経済的負担軽減対策の一環として、安く長期滞在のできる宿泊施設の整備を継続要請してまいります。

#### 母子保健・児童福祉

子ども・子育て支援事業計画に基づき、引き続き「安心して子育てができる島の実現」のために、子ども・子育て支援施策を推進してまいります。